



# ベルギーより

TO 仙崎中学校の皆さん

2017/2/3 JSB 赤木

## Bonjour!! 仙崎中学校の皆さん、こんにちは

私は、仙崎中学校からJSB（ブラッセル日本人学校）に派遣されている赤木克哉です。ベルギーの首都ブリュッセルに来て約1年が経ちました。この機会に、皆さんにもベルギーやヨーロッパについて知り、興味をもってもらおうと思っています。

今回は簡単にブリュッセルやベルギーについて紹介します。

### ベルギーって、どんな国？

ベルギーはヨーロッパの西部にある国で、面積は日本の北海道の約4割ほどの広さがあります。北海に面していて、首都のブリュッセルは国のだいたい中央にあります。



「ヨーロッパの十字路」と呼ばれており、周辺の国の首都のほとんどが、ブリュッセルから半径約500kmの円の中に入ってきます（パリ、ロンドン、ルクセンブルク、アムステルダムなど）。EUの本部が置かれている理由かもしれません。

ブリュッセルの気候は、夏場の平均最高気温が22℃前後、冬場の平均最低気温が1℃前後と、北海道よりも北である割に温暖です。これは暖流の影響を受けているためです。

日本とは時差が8時間あります。4月からはサマータイムとなり、時差は7時間になります。2月の今は、日本が夕方5時ならベルギーは朝の9時となります。冬は日が短く、夏は夜9時くらいまで明るくなります。

有名なのは、ワッフル、フリッツ、ビール、小便小僧、グランプラスの花の絨毯、チョコレートでしょうか。世界遺産がたくさんあり、美しい町並みや風景はヨーロッパを満喫できます。ちなみに、フリスクの発祥はベルギーだそうですよ。





# ベルギーより

TO 仙崎中学校の皆さん

2018/3/21 JSB 赤木

## Bonjour!! 仙崎中学校の皆さん、こんにちは

ベルギーも徐々に日が長くなってきました。4月からサマータイムが始まります。サマータイムになると1時間進んだ時間での生活となります。すなわち、今までの午前8時が午前9時となるわけです。これによって日本との時差が8時間から7時間になります。

さて、ベルギーではサッカーが盛んです。全日本も3月後半にベルギーで2試合国際親善試合をします。JSBの児童生徒はこの機会に全日本の選手と交流するんですよ。前回のベルギーとの試合前の練習でも交流しました。私も全日本の選手と握手したり写真を撮ったりしました。また、ベルギーリーグの日本人選手（森岡・久保・豊川・富安）も活躍しています。DMMがベルギーのサッカーチームを買収したので、ますます日本との距離が縮まりそうですね。

前置きが長くなりましたが、前回に続きヨーロッパあるあるについて紹介したいと思います。

## 日本とベルギー(ヨーロッパ)の違い!

### ○ 日曜日は休み!

ヨーロッパの人々は基本的にキリスト教徒が多いです。ですから、スーパーをはじめほとんどのお店が閉まっています。観光客相手のお店や、日本でいうところのコンビニ（もちろん24時間営業ではありません）エクスプレスなどが開店しています。

### ○ 救急車は有料!

ヨーロッパの救急車は有料です。これなら、日本のように救急車をタクシー代わりにするような問題は起きませんね。

### ○ 乳母車や自転車のタイヤが丈夫!

ヨーロッパの道は、日本と同じアスファルトも多いのですが、昔ながらの石畳もまだまだ多いです。ですから、それに対応できるように乳母車や自転車のタイヤが日本よりもやや大きく丈夫に作られています。

### ○ スーパーのレジ仕事は楽ちん?

ヨーロッパのスーパーなどのレジは座ったままの作業です。コンベアー式に流れてくる商品をバーコード読み取り機に通し、ほとんどカードで支払うお客さんに対応します。日本と違って男性も多く働いていますよ。

### ○ 公共交通機関(トラム・バス)の運転手が自由?

ベルギーの路面電車やバスの運転手さんの中には、運転中にアイスクリームを食べていたり、バスを止めて昼食を買いに行ったりする人がいます。乗客もそれに対して意外と文句を言いません。日本ではあり得ませんよね。

### ○ 桜がいっぱい!

日本ならではの桜と思いがちですが、ベルギーには結構桜が咲いているところが多いんです。ベルギーで花見ができるのは意外じゃないですか?

### ○ ヨーロッパ人はマスクをしない?

諸説ありますが、欧米人はマスクの効果을期待していないのが一番の理由かもしれません。伝染病患者と間違われるからという説もあります。





# ベルギーより

TO 仙崎中学校の皆さん

2018/9/7 JSB 赤木

## Bonjour!! 仙崎中学校の皆さん、こんにちは

ベルギーは徐々に日が短くなってきました。運動会の練習は肌寒い日も多く、震えながら活動している子どもがいるくらいです。緯度が高い分、日が長くなったり短くなったりするペースがすごく速いようです。今は9時半くらいに日が暮れるのですが、10月から11月になると5時から6時くらいには暗くなってしまいます。

さて、ワールドカップで日本は大活躍でしたね。日本とベルギーの試合はこちらでも大いに盛り上がりました。ベルギーは優しい方が多いので、日本を悪く言う方はあまりいません。私はベルギーの人々もいるところで一緒に試合を見ていたのですが、他のヨーロッパの国の人々と違って、お互いに褒め合いながら対戦国の人々と和気藹々と試合を観戦しました。本音を言うと、ベルギーが勝ってほっとしたところもありますが、ブリュッセルと聞いて世界で最も有名なのは、グランパレスで2年に一度開催されるフラワーカーペットです。

前回同様前置きが長くなりましたが、今回はブリュッセルのフラワーカーペットについて紹介したいと思います。

## Flower Carpet! (フラワーカーペット)

ベルギーと言えば何といてもブリュッセルのフラワーカーペットが世界的に有名です。世界一美しいといわれているグラン・プラスで2年に一度開催されます。前回は2016年に日本をテーマにした花の絨毯が作られました。日本とベルギーの国交150周年記念でも友好を祝ったようです。

1971年からスタートしたフラワーカーペットですが、大きさは77m×24mで約120人のボランティアによって4時間という短時間で一気に作られます。100万のペゴニアという花が使われており、計算されて敷き詰められているために風などで飛び散ってしまうことはありません。



— 昨年作品



今年のテーマは豊かな花の文化と伝統をもつ「メキシコのグアナフアト」でした。私も仙崎中学校の特派員として皆さんの代わりに見に行ってきました。私の家からは6kmくらいのところですが、日本からの観光客もたくさん見に来られていましたよ。

夜は周囲の建物もカーペットもライトアップされて、さらに幻想的な雰囲気に包まれます。そのときの写真も併せてご覧ください。



グラン・プラスの  
様子



夜の様子  
いつもライトアップされています。



何かの行事につけ、グラン・プラスでプロジェクション・マッピングのような感じでライトショーが催されます。